

松本史朗先生 略歴及び業績

略歴

- 昭和二五年（一九五〇）二月 東京都杉並区に生まれる
昭和四三年（一九六八）三月 東京都立西高等学校卒業
昭和四四年（一九六九）三月 早稲田大学第一文学部中退
昭和四八年（一九七三）三月 駒澤大学仏教学部仏教学科卒業
昭和五一年（一九七六）三月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専攻修士課程修了
昭和五六年（一九八一）三月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専攻博士課程満期退学
昭和五七年（一九八二）四月 駒澤大学仏教学部助手
昭和六〇年（一九八五）四月 駒澤大学仏教学部講師
平成元年（一九八九）四月 駒澤大学仏教学部助教授
平成七年（一九九五）四月 駒澤大学仏教学部教授
令和二年（二〇二〇）三月 駒澤大学定年退職

その他 シカゴ大学客員教授、東海大学・東京大学・上智大学の非常勤講師を務める

学位 博士（仏教学）〔駒澤大学〕 平成七年（一九九五）三月
在外研究 ウィーン大学（一九八七年四月―一九八八年三月）

業績一覽

著書

- 一九八九年 『縁起と空 如来藏思想批判』
一九九三年 『仏教への道』
一九九四年 『禅思想の批判的研究』
一九九七年 『チベット仏教哲学』
二〇〇〇年 『道元思想論』
二〇〇一年 『法然親鸞思想論』
二〇〇四年 『仏教思想論 上』
二〇一〇年 『法華経思想論』
二〇一三年 『仏教思想論 下』

- 大蔵出版
東京書籍
大蔵出版
大蔵出版
大蔵出版
大蔵出版
大蔵出版
大蔵出版
大蔵出版

論文

- 一九七八年 『「入中論」のウトパラの比喩について』
一九七八年 『Jānagarbha の二諦説』
一九七八年 『Sa skya pandita の教学に関する一考察』
一九七九年 『Dharmapāla の二諦説』
一九七九年 『The *satyadvaya* Theory of the *Madhyamakāvatārabhāṣya*』
一九八〇年 『Ratākaraśānti の中観派批判 (上)』
一九八〇年 『Ratākaraśānti の中観派批判 (下)』
一九八〇年 『Sahopalambha-niyama』

- 『印度学仏教学研究』二六—二
『仏教学』五
『日本西蔵学会会報』二四
『印度学仏教学研究』二七—二
『印度学仏教学研究』二八—一
『東洋学術研究』一九—一
『東洋学術研究』一九—二
『曹洞宗研究員研究生研究紀要』一一

- 一九八〇年 「仏教論理学派の二諦説(上)」
- 一九八〇年 「南都仏教」四五
- 一九八〇年 「仏教論理学派の二諦説(中)」
- 一九八〇年 「南都仏教」四六
- 一九八一年 「仏教論理学派の二諦説(下)」
- 一九八一年 「南都仏教」四七
- 一九八一年 「On the Philosophical Positions of Dharmottara and Jitāri」
- 一九八一年 「印度学仏教学研究」二九—二
- 一九八一年 「Svabhāvaprabandha」
- 一九八一年 「印度学仏教学研究」三〇—一
- 一九八一年 「ツォンカパの中観思想について」
- 一九八一年 「東洋学報」六二—三・四
- 一九八一年 「Tson kha pa 独自のの中観思想について」
- 一九八一年 「日本西蔵学会会報」二七
- 一九八一年 「チベットの中観思想について」
- 一九八一年 「東洋学術研究」二〇—一
- 一九八一年 「Ita bahi khvad par におけるの中観理解について」
- 一九八一年 「曹洞宗研究員研究生研究紀要」一三
- 一九八二年 「Madhyamakāloka の一乗思想」
- 一九八二年 「曹洞宗研究員研究生研究紀要」一四
- 一九八二年 「唯識派の一乗思想について」
- 一九八二年 「駒澤大学仏教学部論集」一三
- 一九八二年 「チベットのの中観思想——特に「離辺中観」説を中心にして——」
- 一九八二年 「東洋学術研究」二一—二
- 一九八三年 「sTag tshān pa の Tson kha pa 批判について」
- 一九八三年 「日本西蔵学会会報」二八
- 一九八三年 「勝鬘經」の一乗思想について」
- 一九八三年 「駒澤大学仏教学部研究紀要」四一
- 一九八三年 「Lankāvatāra on śālistambasūtrā」
- 一九八三年 「駒澤大学仏教学部論集」一四
- 一九八四年 「後期中観派の空思想 「瑜伽行中観派」について」
- 一九八四年 「理想」六一〇
- 一九八四年 「Jñānagarbha の「世俗不生論」批判について」
- 一九八四年 「駒澤大学仏教学部論集」一五
- 一九八四年 「ツォンカパの中観思想に関する考察——否定対象の確認について——」
- 一九八五年 「日本西蔵学会会報」三〇
- 一九八五年 「チャンドラキールテイの論理学」
- 一九八五年 「駒澤大学仏教学部研究紀要」四三
- 一九八五年 「仏教綱要書」
- 一九八五年 「山口瑞鳳監修『敦煌胡語文獻』大東出版社

- 一九八六年 「ツォンカバの自立論証批判について」
 一九八六年 「後期中観思想の解明に向けて」
 一九八六年 「如来蔵思想は仏教にあらず」
 一九八六年 「縁起について」
 一九八七年 「仏教と神祇—反日本主義的考察—」
 一九八七年 「チベット仏教の教理と歴史」
 一九八八年 「空」
 一九八八年 「空について」
 一九八九年 「ツォンカバとゲルク派」
 一九九〇年 「『法華経』と日本文化に関する私見」
 一九九〇年 「三論教学の批判的考察」
 一九九〇年 「The Mādhyamika Philosophy of Tsong-kha-pa」
 一九九一年 「『涅槃経』とアートマン」
 一九九一年 「深信因果について——道元の思想に関する私見」
 一九九三年 「『金剛経解義』と神会」
 一九九四年 「仏教の批判的考察」
 一九九四年 「My Report of the Panel on Critical Buddhism」
 一九九五年 「禅思想批判について」
- (山口瑞鳳監修『チベットの仏教と社会』春秋社)
 『東洋学術研究』二五—二
 『印度学仏教学研究』三五—一
 『駒澤大学仏教学部論集』一七
 『日本仏教学会年報』五—二
 (長野泰彦・立川武蔵監修『チベットの言語と文化』冬樹社)
 (長尾雅人等監修『インド仏教 2』岩波書店)
 『駒澤大学仏教学部論集』一九
 (長尾雅人等監修『チベット仏教』岩波書店)
 『駒澤大学仏教学部論集』二—
 (平井俊榮監修『三論教学の研究』春秋社)
Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko, 48.
 (『我』の思想』春秋社)
 (鏡島元隆・鈴木格禅監修『十二卷本『正法眼蔵』の諸問題』大蔵出版)
 『駒澤大学禅研究所年報』四
 (溝口雄三等編集『世界の形成』東京大学出版会)
 『駒澤大学仏教学部研究紀要』五—
 『駒澤大学禅研究所年報』六

- 一九九五年 「法華經」の思想——「方便品」と「譬喩品」——
- 一九九六年 「Buddha-nature as the Principle of Discrimination」
- 一九九七年 「Critiques of Tathāgatagarbha Thought in Buddhist Philosophy」
- 一九九八年 「伝統宗学から批判宗学へ」
- 一九九八年 「道元と如来藏思想」
- 一九九八年 「選択本願念仏説と悪人正因説」
- 一九九八年 「捨子問答」と『後世物語』
- 一九九九年 「唯信鈔」について
- 一九九九年 「Critical Considerations on Zen Thought」
- 一九九九年 「現成公案」と仏性顕在論
- 二〇〇一年 「批判仏教の批判的考察」
- 二〇〇二年 「浄土教論」
- 二〇〇二年 「Critiques of Tathāgatagarbha Thought and Critical Buddhism」
- 二〇〇三年 「『解深密経』の「唯識」の経文について」
- 二〇〇五年 「如来藏思想と本覚思想」
- 二〇〇五年 「Critical Considerations on the Lotus Sutra」
- 二〇〇七年 「『法華経』の文学性と時間性」
- 二〇〇八年 「『法華経』における一分不成仏説の問題」
- 二〇〇九年 「『法華経』の形成に関する一視点」
- 二〇一〇年 「On the Term *dōsa* in the *Bhagavadgītā*, V,19」
- 二〇一〇年 「菓草喩品」の問題——sarva「一切」と sama「平等」——
- 二〇一〇年 「The Lineage of *thānu-vāda*」
- 一九九五年 駒澤大学大学院仏教学研究会年報
- 一九九六年 駒澤大学仏教学部論集』二七
- 一九九七年 駒澤大学仏教学部研究紀要』五五
- 一九九八年 『宗学研究』四〇
- 一九九八年 駒澤大学仏教学部研究紀要』五六
- 一九九八年 駒澤大学仏教学部論集』二九
- 一九九八年 駒澤大学仏教学部論集』二九
- 一九九九年 駒澤大学仏教学部研究紀要』五七
- 一九九九年 駒澤大学禅研究所年報』一〇
- 二〇〇〇年 『宗学研究』四一
- 二〇〇〇年 『日本仏教学会年報』六六
- 二〇〇〇年 駒澤大学仏教学部研究紀要』六
- 二〇〇〇年 駒澤大学仏教学部論集』三三二
- 二〇〇〇年 駒澤大学仏教学部研究紀要』六一
- 二〇〇〇年 駒澤大学仏教学部研究紀要』六三
- 二〇〇〇年 『在家仏教』一
- 二〇〇〇年 『在家仏教』二
- 二〇〇〇年 『在家仏教』三
- 二〇〇〇年 駒澤大学仏教学部研究紀要』六七
- 二〇〇〇年 駒澤大学仏教学部研究紀要』六八
- 二〇〇〇年 『在家仏教』五
- 二〇〇〇年 『インド論理学研究』一

- 一〇一一年 『宝性論』における visuddhi の論理構造』
 一〇一一年 『An Interpretation of *Prasammapadā*, 18.5-19.7』
 一〇一二年 久遠実成の仏に つらつ』
 一〇一三年 『根本中頌』の論理学』
 一〇一四年 『如来蔵と空』
 一〇一四年 『京都学派の仏教理解』
 一〇一四年 『戲論と分別』
 一〇一四年 『梁塵秘抄』と仏教』
 一〇一五年 『五蘊論分別疏』和訳—アーラヤ識とアーダーナ識の語義説明—』
 一〇一六年 『*kāya or ātmabhāva?* : A Preliminary Response to Professor Schmithausen』
 一〇一七年 『Considerations on the So-called Eternal Buddha』
 一〇一七年 『On the One Vehicle Thought of the *Lotus Sutra*』
 一〇一八年 『Japanese Philosophy and Buddhism』
 一〇一八年 久遠実成の仏の寿命に つらつ』
 一〇一九年 『*parinirvānaṃ adarśayati* に つらつ』
- 『インド論理学研究』二
 『インド論理学研究』三
 『インド論理学研究』五
 『インド論理学研究』六
 (桂紹隆等編『如来蔵と仏性』春秋社)
 『駒澤大学仏教学部論集』四五
 『インド論理学研究』七
 『在家仏教ころの研究所紀要』七
 『駒澤大学仏教学部論集』四六
 『インド論理学研究』九
 『在家仏教ころの研究所紀要』八
 『インド論理学研究』一〇
 『駒澤大学仏教学部研究紀要』七六
 『インド論理学研究』一一
 『駒澤大学仏教学部論集』五〇